

ラベルプリンター導入事例

株式会社イグアス様

イグアス社開発の検温システムと連携し、検温OKシールを印刷

その他/検温システム



事業内容

ITディストリビューション事業、ITサプライ事業、3Dプリンター事業など

導入目的

AIサーマル検知タブレットとTD-4550DNWBの連携により、入場者検温の無人化・可視化を実現

導入機種

大量高速印刷・剥離発行が可能な感熱ラベルプリンター TD-4550DNWB

■会社概要

業開始日	2006年4月1日
代表者	代表取締役社長 矢花達也
資本金	6億2,900万円(資本準備金含む)
売上高	367億円(2019年度)
従業員数	294名(有期社員を含む)
本社所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館21F
URL	https://www.i-guazu.co.jp

AI体温検知タブレットとTD-4550DNWBの連携により コロナ禍での入場者管理の無人化・可視化を実現!

! TD-4550DNWB導入の背景

新型コロナ対策用の入場者管理ソリューション「テンポック」を開発。

- タブレットで体温自動検知
- 約1秒で検温OKシール発行
- 発売当初から大きな反響

IT機器ディストリビューション事業等を展開する株式会社イグアス様は2020年9月、新型コロナウイルス対策用の入場者管理システム「テンポック」を発売しました。テンポックはAIサーモグラフィ機能搭載のタブレットで体温を自動検知し、マスク装着のまま約1秒で検温OKラベルシールを出力する画期的なソリューション。セルフ検温のため受付を無人化でき、ラベルシールで正常体温であることを可視化できるため、発売当初から大きな注目を集めました。

! TD-4550DNWBを選択した理由

「テンポック」が求めるラベルプリンターの要件をすべてクリアー。

- 大量印刷できる高耐久性
- 行列を回避する高速印刷
- 非接触の剥離発行が可能

同社はテンポックに組み込むラベルプリンターとして、ブラザーのTD-4550DNWBを選定しました。同社が求めた要件は、①毎日5,000人超の展示会入場者に対応できる高耐久性、②入場待ち行列を招かない高速印刷、③感染症対策に適した非接触のラベルシール剥離発行※、④無償のラベル作成ソフトP-touch Editorでラベルのカスタマイズや色分けが可能、等でした。また連携システム開発の際に、P-touch EditorがAndroidにも対応していることも決め手となりました。

※剥離発行は、オプションのハクリユニットを装着して行います。

! TD-4550DNWB導入の成果

展示会や企業の受付、病院、学校などのユーザーから極めて高い評価。

- 安心を可視化したラベル発行
- 受付無人化でコスト削減
- 勤怠管理システム等と連携も

テンポックは発売以来、各種展示会や企業の受付、病院、学校などから多くの引き合いがあり、すでに導入が決定しています。実際に使用したユーザーからは「安心を可視化できた」「受付の無人化で感染症対策とコスト削減が実現した」と高く評価されています。同社では今後、テンポックをさらにアップデートするとともに、既存の勤怠管理システムとの連携や、QRコードによる入場者管理、さらにテンポックを新たな商材として提供するなど、さまざまな展開を予定しています。

ご購入いただいた代表的機種

TD-4550DNWB

大量発行に適した最高152mm/秒の高速印刷

有線/Wi-Fi/Bluetoothに対応、
剥離発行・液晶付きフラッグシップモデル!

さまざまな感熱ラベルに対応

セルフメンテナンスでダウンタイム短縮



※製品の詳しい仕様は裏面をご覧ください。

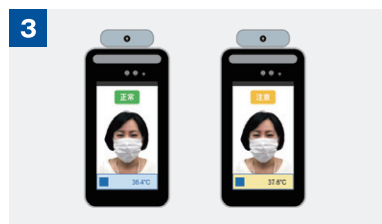
■テンポック(AI検温機能搭載タブレット&TD-4550DNWB)で「検温OK」シールを出力するプロセス



1 テンポックの前(0.5m~1m)に立ちます。



2 正常体温の場合は「検温OK」シールが約1秒で発行。



3 高熱者はアラート音&「注意」と画面表示されます。



4 シールを衣服に貼付することで検温実施の証明に。

■テンポックの機能と特長

- 検温の無人化対応が可能に。
入口で来場者がセルフ方式で検温し、正常な体温の場合には「検温OK」ラベルシールが発行されます。受付を無人化できるため、検温時の人との接触をなくし、業務負荷も軽減できます。
- 検温実施を可視化します。
出力したラベルシールを、衣服やゲストパスに貼付することで、検温実施の証明になり、来場者に安心感を与えます。またラベルシールは台紙から剥離された状態(非接触)で出力されます。
- さまざまな施設で活用。
不特定多数の来場者に対応できるため、さまざまな施設やシーンで活用できます。ラベルシールのデザインは、ブラザーの無償ラベル作成ソフト「P-touch Editor」で自由にカスタマイズが可能です。
- シールの使い回しを防止。
ラベルシールには日付、時間、施設名などを印刷することが可能で、使い回しの防止になります。また社員用と来客用を色分けしたり、日付別に色分けも可能。入場者管理にも役立ちます。

■お客様の声

二つの既存製品を感染症対策の視点から連携させ、検温完了の可視化と業務負荷軽減を同時に実現しました。



株式会社イグアス | ビジネス開発事業部 | 新規営業部 | 天野 敬之 様

新型コロナウイルスという予期しなかった状況のなか、当社は3Dプリンター事業の知見を生かしたマスクの3次元データ無償公開や、アルコールジェルのスبسクリプションサービス「CLINTE」など、感染症対策ソリューションにも積極的に取り組んできました。2020年9月に発売した「テンポック」もその一環ですが、非常に大きな反響をいただきました。テンポックは、既存の検温機能付きタブレットとラベルプリンターをシンプルに連携させることで、検温完了の可視化と業務負荷軽減を同時に実現。それが高く評価された理由だと思います。ブラザーのTD-4550DNWBは、当社が求めた要求仕様のすべてをクリアした最適なラベルプリンターで、高く評価しています。

■エンドユーザー様の声

テンポックなら安心を可視化でき、さらに受付無人化によるコスト削減とオペレーション効率化も実現する画期的なソリューションだと思います。



株式会社JTBコミュニケーションデザイン | トレードショー事業部 事業推進局 | 山縣 正弥 様 / 日比 まどか 様

当社はJTBグループで、展示会主催事業やイベント・プロモーション事業等を展開しています。コロナ禍で展示会の運営に悩んでいた時、別の展示会でイグアス様の「テンポック」出展を見て、これだと思いました。展示会は出展者と来場者の出会いの機会であり、何よりも両者が安心してコミュニケーションできる環境作りが不可欠です。各ゲートにスタッフを配置した検温も検討しましたが、会場に入る度の検温は参加者のご負担になります。テンポックならラベルシールで安心を可視化でき、さらに受付無人化によるコスト削減と運営効率化も実現する画期的なソリューションだと思います。今後はラベルシールに広告枠を設けるなど、さまざまな展開も計画しています。

■出力見本 (原寸大)



■テンポックの概要

- AIサーマル検知システム(体温温度検知タブレット) / 7インチディスプレイ、誤差±0.3度、検知距離0.5m~1.0m、温度検知時間1秒以内
 - ラベルシールプリンター / 別記参照
 - サイズ / 約195mm×245mm×500mm[W×D×H] ●重さ / 5.3kg
 - 価格 / 標準販売価格¥500,000(税抜)、レンタル料金:月額 ¥30,000(税抜)
- ※本製品は医療機器ではありません。
検知温度は体温温度からAIにより推測した参考値です。



■TD-4550DNWBの概要

- 印刷方式 / 感熱方式 ●印刷ヘッド(解像度) / 300dpi
- 印字速度 / 最高152mm/秒 ●最大印字幅 / 108.4mm
- 最小印字長 / 連続印刷:6.4mm、
剥離モード:17mm、カッター:20mm、ディアパー:18mm
- 寸法・質量 / 約180mm(W)×255mm(D)×155mm(H)、約2.41kg
- インターフェイス / USB、有線LAN、無線LAN、Bluetooth、シリアル
- 最大消費電力 / 約418W



導入事例紹介サイト



ブラザー製品により、さまざまな課題を解決し業務改善に成功された事例の数々をご紹介します。
<https://www.brother.co.jp/product/biz/business-navi/case/index.aspx>